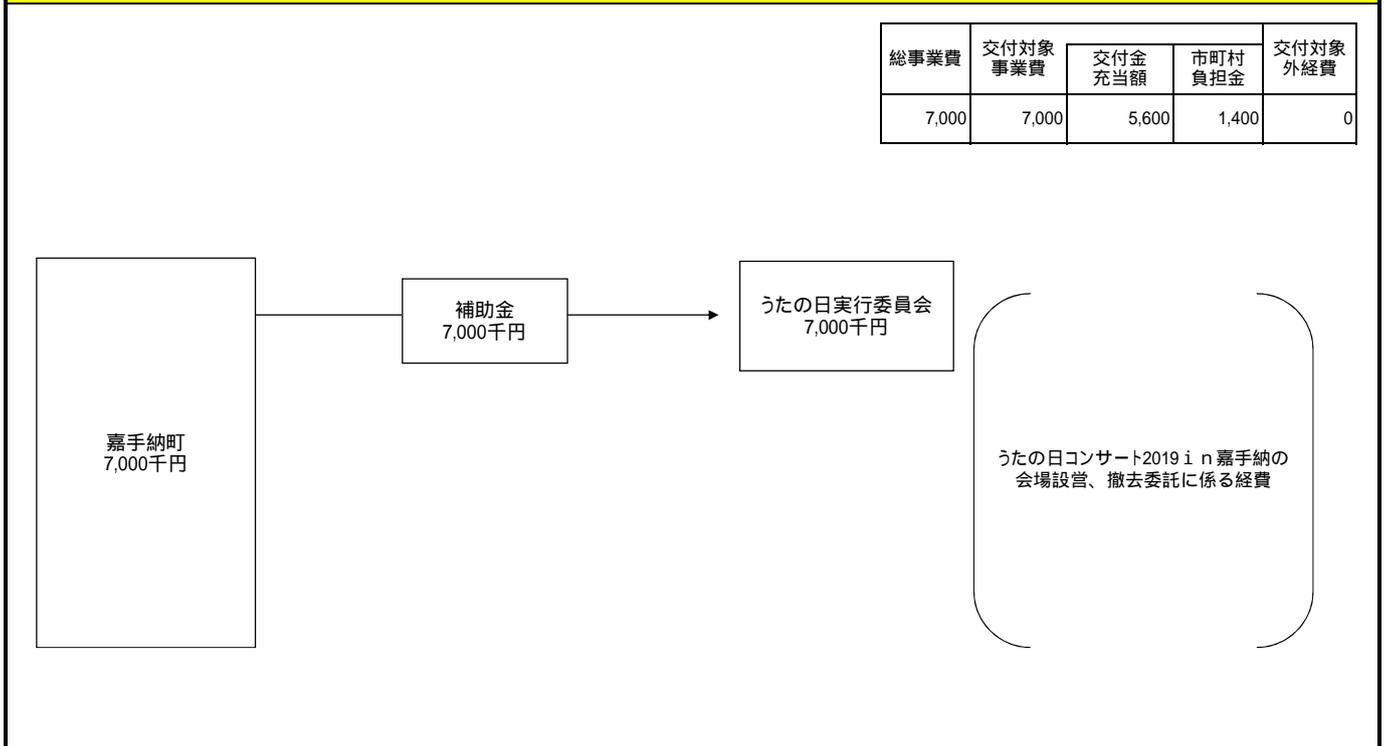


市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	うたの日コンサート事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部課名	産業環境課 商工振興係	事業実施(予定)年度	平成25～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 -1-(1)	
事業内容	観光誘客を図るため、音楽イベント「うたの日コンサート」の開催に係る経費の一部を支援した。						
効果発現年度	当年度		後年度()年度				
実施方法	直接実施		委託 補助 負担		その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	8,000	8,000	8,000	7,000	7,000
	(b)予算現額	8,000	8,000	7,000	7,000	7,000	
	(c)増減額(b-a)	0	0	1,000	0	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	8,000	8,000	7,000	7,000	7,000	
	B.執行済額	8,000	8,000	7,000	7,000	7,000	
	うち交付金充当額	6,400	6,400	5,600	5,600	5,600	
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	コンサート会場の設営費及び撤去費の一部を補助して事業計画どおりに予算を執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	実行委員会への補助金交付	目標	(うたの日実行委員会への補助)	(うたの日実行委員会への補助)	(補助金交付)	(補助金交付)	
		実績	うたの日実行委員会への補助をした	うたの日実行委員会への補助をした	補助金を交付した	補助金を交付した	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	会場設営等に係る経費を補助対象としており、今年度も目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	来場者数	目標	()	(6,000人)	(8,260人)	(7,840人)	()
		実績		7,000人	7,000人	8,000人	
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・来場者数は成果目標値を超える8,000人を集客することができた。(対前年度比:1,000人増/14%増) ・うたの日コンサート当日には、会場内にて本町特産品販売店3店舗による商品販売、本町のガイドブックの配布、観光情報動画の放映及び地元ゆるキャラを活用した広報活動を行い、本町の観光資源のPRを行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数の増加については、町内各施設のポスター掲示をはじめ町HPでの告知、大型ビジョンなど様々な媒体を活用し、早期に情報周知した結果、チケット売上も対前年比に比べ32%増加した。 ・うたの日コンサートの誘致が本町の観光へつながったことを確認するため、コンサート来場者にアンケート調査を実施した。町外からの来場者205人から回答を得た結果、嘉手納町を観光したことがあると回答した人の比率は46%であり、対前年度比が31%だったため15%増加している。観光情報を得た媒体もうたの日コンサート関連で60%と過半数を超える結果となっており、一定数の効果を得ていることがわかった。 ・観光情報はネットで得ている方が全体の約51%であり、次いで友人・知人16%、SNSが13%となっている。より効果的な周知を図るため、ネットの活用した取組を増やすべきである。 ・本町にて当イベント開催が確約されているわけではなく、毎年調整をしているため開催にあたり不確定な要素がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、集客につながる情報発信は早期に取り組むこと、また、ポスター等広告宣伝に利用できるものは、より効果的な手法を検討して実施する。 ・アンケート調査の結果、うたの日コンサートの開催は、本町への観光誘客に一定程度の効果があることが確認できた。今後も継続的にアンケートを行うことで、本町の観光情報発信の効果的な検証ツールとして活用できると考える。 ・本町が実施しているインターネットの掲載は本町HPのみとなっている。そのため、その他活用できるツールへの掲載依頼を実施して、より露出を増やす。 ・次年度以降も本町でイベントを開催いただくよう「うたの日実行委員会」へ誘致活動を実施する。

今後の取り組み方針
<p>令和2年度は他市町村で開催することに決定した。しかし、本町への観光客誘客へは一定の効果があるため引き続き本町で開催いただくよう「うたの日実行委員会」へは誘致活動を継続実施していく。その上で、改めて開催する際には下記の内容の取組を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該イベントにより多くの方が訪れるよう、うたの日実行委員会へ早期に情報発信を行うよう要請するとともに、本町としては各種施設へポスター掲示依頼を行うことで、引き続き来場者の増加を目指す。 ・うたの日コンサート開催が本町内への観光へつながったことを検証するため、設問内容や表現を改善しながらアンケート調査を引き続き行い、分析していく。 ・30～50代がメイン客層となっているイベントのため、より効果的な告知を図るためメインターゲット層に合わせて、周知する場所や情報発信する媒体を絞っていく。

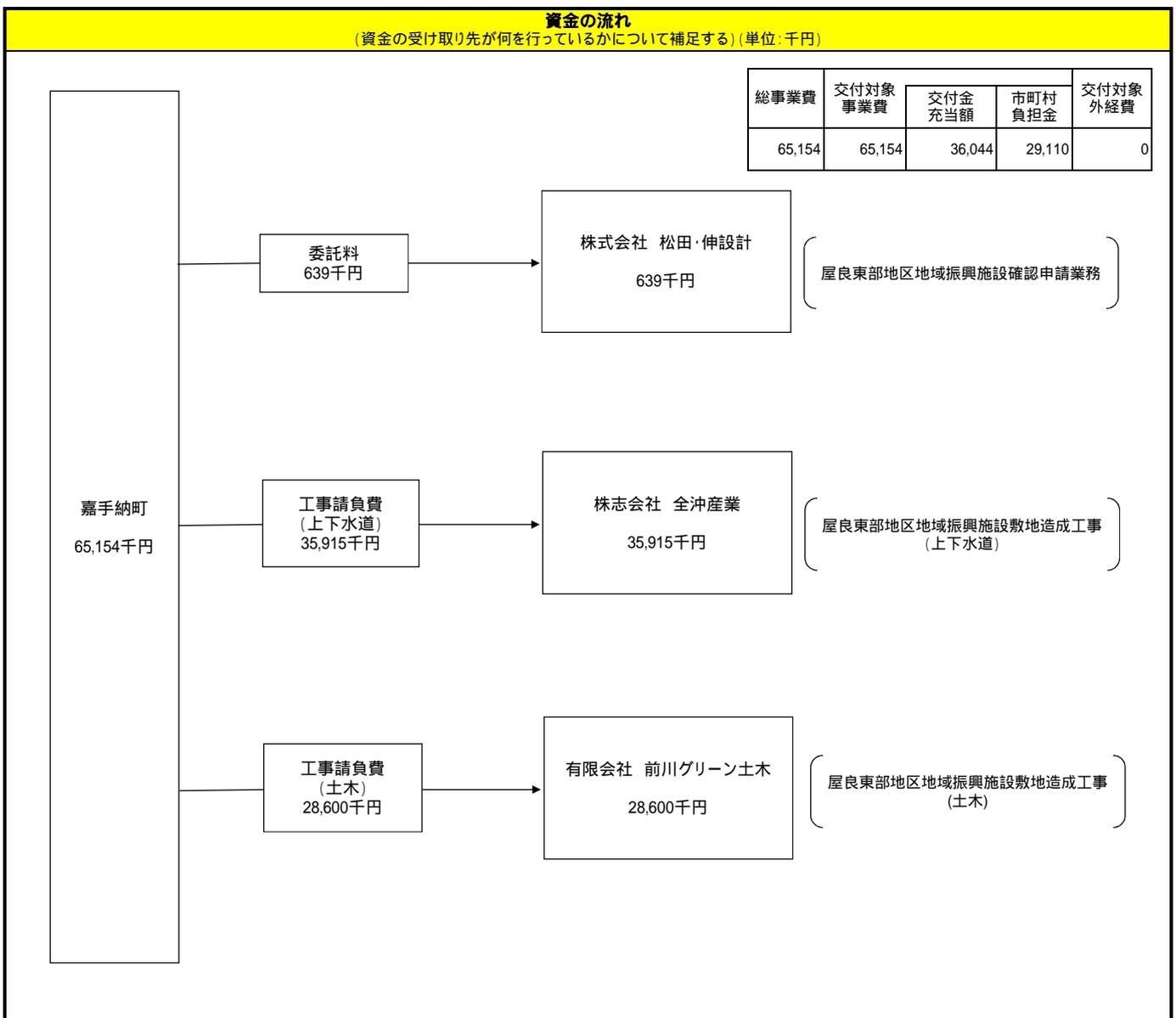
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法については、過去の事業実績等を勘案し、決定したため妥当だと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については、事業内容、事業開催条件、事業規模を確認し、補助金を支出しており適正だと考える。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者であるうたの日実行委員会は会場設営にかかる費用全体の約6割を負担している。またその他経費も支出しており、事業内容やイベント規模などから判断しても妥当である。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であると判断した。

市町村名		嘉手納町									
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	1- 屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-工						
	担当部課名	産業環境課 商工振興係		事業実施(予定)年度	平成25-令和3年度	観光客の受入体制の整備					
				沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)						
事業内容											
施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)に向けた外構工事を行った。											
効果発現年度											
当年度 後年度(令和4年度)											
実施方法											
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
		(a)当初予算額	22,032	2,764	79,201	23,200	65,094				
	(b)予算現額	22,032	2,689	49,954	23,492	70,645					
	(c)増減額(b-a)	0	75	29,247	292	5,551					
	(d)繰越額	-	-	-	-	-					
	A.計(b+d)	22,032	2,689	49,954	23,492	70,645					
	B.執行済額	22,032	2,689	49,689	23,476	65,154					
	うち交付金充当額	17,625	2,151	39,751	18,780	36,044					
	次年度繰越額	-	-	-	-	-					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.5%	99.9%	92.2%					
予算の状況の説明		当初予定通り期間内に完了した。									
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況								
			H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		
	外構工事の実施		目標	(実施設計の策定)	(実施設計の策定)	(外構工事の実施)	()				
			実績	実施設計(その1)の完了	実施設計(その2)の完了	外構工事の完了					
			目標	()	()	()	()				
			実績								
達成状況説明		当初予定とおり外構工事が完了した。									
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)				
	外構工事の完了		目標	()	(実施設計の策定)	(実施設計(その2)の完了)	(外構工事の完了)	()			
			実績		実施設計(その1)の完了	実施設計(その2)の完了	外構工事の完了				
	[R4成果目標] 施設の来訪者数 77.9万人以上/年		目標	()	()	()	()	(77.9万人)			
			実績								
進捗状況説明		当初予定とおり外構工事が完了した。									

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定とおり遅延なく工事が完了した。 ・屋良東部地区地域振興施設(既存棟)は通常営業を実施しており、入居テナントの方々や観光客への安全確保、工事に関する情報の周知活動を徹底する必要がある。 ・既存棟の修繕などその他工事も別途発注することがあるため、工事に影響がでないよう調整が必要となる。 ・感染症等による社会情勢への影響により、資材の納品など納期限内に対応できない可能性が考えられる。 ・工期のスケジュールに合わせて、運営方法や方針をより具体的に定める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、当該施設の運営状況や工事内容の情報発信に取り組む必要がある。 ・工事のスケジュールの把握、厳守を徹底し、早期発注に取り組むほか、請負業者をはじめ関係者とコンセンサス形成を図り、当初予定通りに事業を推進する。 ・不測の事態に備え、請負業者とは進捗状況など密な連絡を取り、双方で現状を把握するよう努める。 ・さらに、施設の機能拡充後の運営方法等を引き続き検討しておく必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>令和2年度から建築工事に取り掛かる。令和4年度の供用開始に向けて、関係団体やテナント事業者との調整を交えながら遅延なく工事完了に向けて業務推進する必要がある。加えて、看板や張り紙、広報誌など様々な媒体を使用し、当該施設の現状や今後のスケジュールなど情報発信に取り組む。</p>		



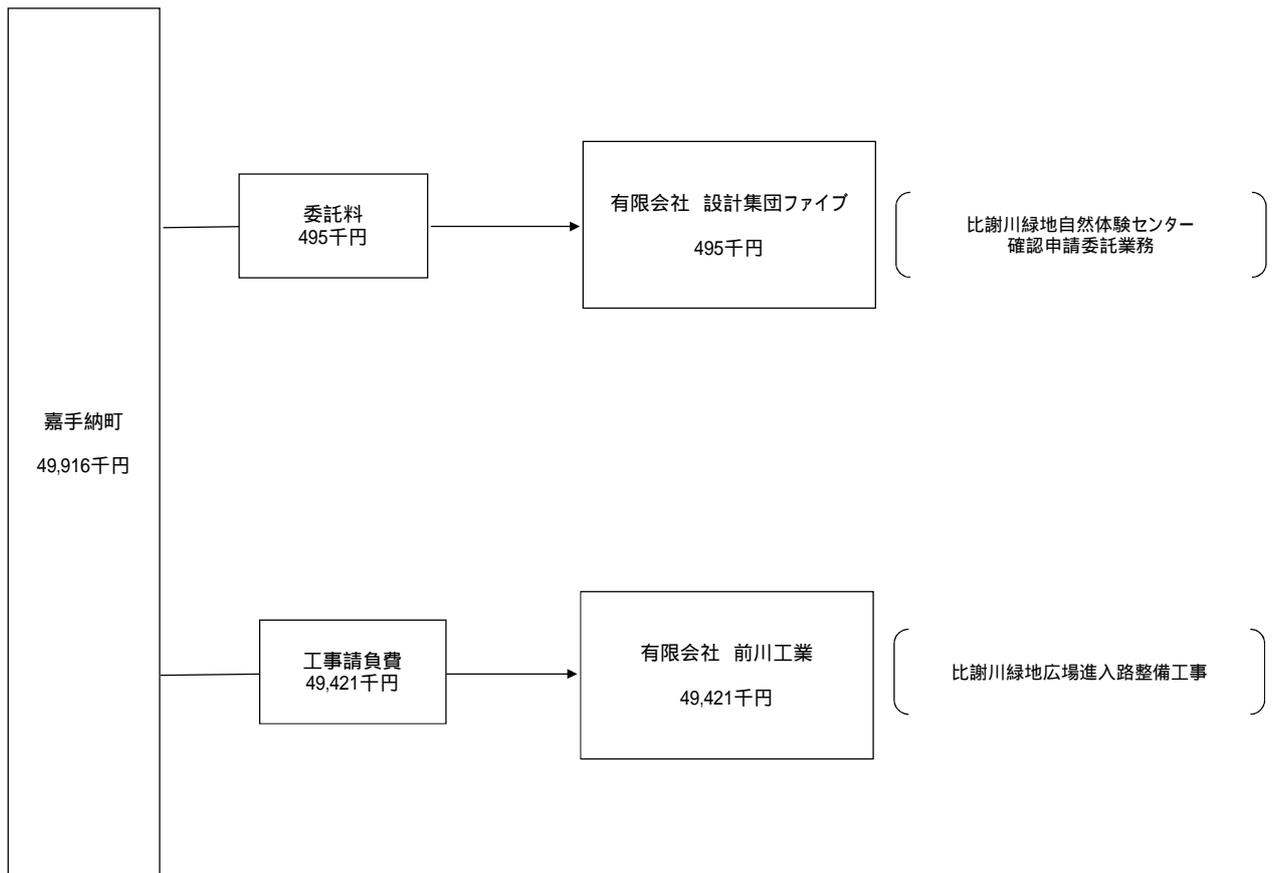
資金の流 点、検 査、評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法については、事業の規模や実績等を勘案し、指名審査委員会にて決定したため妥当だと考える。予算規模については2社以上から見積もりを徴収し、予算を積算しており妥当だと考える。費目、用途については、精算段階で内容を検証しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	比謝川緑地広場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部課名	都市建設課	事業実施(予定)年度	平成24-令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業振興 -1-(1)	
事業内容	観光誘客を図るため、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。						
効果発現年度	当年度		後年度(令和4年度)				
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a)当初予算額			44,282		77,239
		(b)予算現額			34,480		76,395
		(c)増減額(b-a)			9,802		844
		(d)繰越額			-		-
		A.計(b+d)			34,480		76,395
	B.執行済額				34,479		49,915
	うち交付金充当額				27,583		35,297
	次年度繰越額				-		-
	執行率(%) (B/A)				100.0%		65.3%
予算の状況の説明		当初予算額は77,239千円であったが、隣接する他事業工事(県発注の河川工事)との協議調整で工事範囲を縮小する運びとなった為、工事費を28,873千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	進入路、通路の整備工事の実施	目標	()	(実施設計を取りまとめる)	()	(進入路、通路の整備工事の実施)	
		実績		実施設計を取りまとめた。		進入路、通路の整備工事の完了	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	目標どおり進入路、通路の整備工事が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)
	進入路、通路の整備工事の完了	目標	()	(実施設計の完了)	()	(進入路、通路の整備工事の完了)	()
		実績		実施設計の完了		進入路、通路の整備工事の完了	
	【参考指標】 年間利用客数:延べ12,240人以上	目標	()	()	()	()	(12,240人)
		実績					
	進捗状況説明	目標どおり進入路、通路の整備工事が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する他事業工事と調整しながら事業を進める必要がある。 感染症等による社会情勢への影響により、資材の納品など納期限内に対応できない可能性が考えられる。 当事業に関する情報の周知活動を徹底する必要がある。 施設の運営方法等を引き続き検討しておく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事のスケジュールの把握、厳守を徹底し、早期発注に取り組むほか、請負業者をはじめ関係者と計画的な遂行に向けて調整する。 不測の事態に備え、請負企業とは進捗状況など密な連絡を取り、双方で現状を把握するよう努める。 広報等で事業の周知を図る。 目的に合った運営方法を選択するため情報の収集を図る。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から建築工事に取り掛かる。令和4年度の供用開始に向けて、関係者との調整を交えながら遅延なく工事完了に向けて業務を遂行する。 本事業について、広報やHP等での情報発信を強化する。 施設の運営方法等について、他事例などの情報を収集し、目的に合った運営方法を選択する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
49,916	49,916	35,297	14,619	0



資金の流 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法については、事業の規模や実績等を勘案し、指名審査委員会にて決定したため妥当だと考える。 予算規模については、当初予算より28,873千円減となった為、細部まで検討した内容での予算計上が必要であった。 費目、用途については、精算段階で内容を検証しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-	学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24-令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 -3-(1)		
事業内容	教師と連携を図りながらチームティーチングを行うとともに、夏休み等に個別指導や放課後の補習授業を行う学習支援員を小中学校に配置することで、児童生徒の学力向上を図る。							
効果発現年度	当年度		後年度()年度					
実施方法	直接実施		委託		補助 負担 その他()			
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	13,212	13,186	13,201	13,221	13,226	
		(b)予算現額	12,986	12,657	12,082	12,599	12,935	
		(c)増減額(b-a)	226	529	1,119	622	291	
		(d)繰越額	-	-	-	-	-	
		A.計(b+d)	12,986	12,657	12,082	12,599	12,935	
	B.執行済額		12,986	12,657	11,993	11,827	11,242	
	うち交付金充当額		10,389	10,125	9,594	9,461	8,993	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.3%	93.9%	86.9%	
予算の状況の説明		一部の雇用者で欠勤が生じたこと、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	学習支援員配置数 小学校:4人 中学校:1人	目標	(小学校4人 中学校1人)	(小学校4人 中学校1人)	(小学校4人 中学校1人)	(小学校4人 中学校1人)		
		実績	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校1人		
			目標	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員を本町小学校に4名(各学校2名)、中学校に1名配置した。 小学校においては、学級担任とのチームティーチングとして個別の対応や放課後の補習指導を行った。 中学校においては、学習内容の定着が十分でない生徒を対象に、学級内で個別のチームティーチングを通じての学習支援や放課後(毎週月、水)・長期休業中の補習、数学検定対策講座をおこなった。 ティームティーチング:複数の教職員が役割を分担し、協力し合いながら指導する方法。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差		目標	()	(県平均以上)	(小:-1.3 中:-3.7)	(小:-4.8 中:-7.0)	()
	小学校:-4.8ポイント以上 中学校:-7.0ポイント以上		実績		小5国語×算数× 中2国語×数学×	小:-3.1 中:-8.6	小:0 中:-2.2	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明	沖縄県到達度調査の県平均と比較すると、小中どちらも目標値を達成することができた。 令和元年度 沖縄県到達度調査(2月)の結果 ・小学校・・・小5算数:県平均59.5%、本町59.5%【0ポイント】 ・中学校・・・中2数学:県平均52.7%、本町50.5%【-2.2ポイント】							

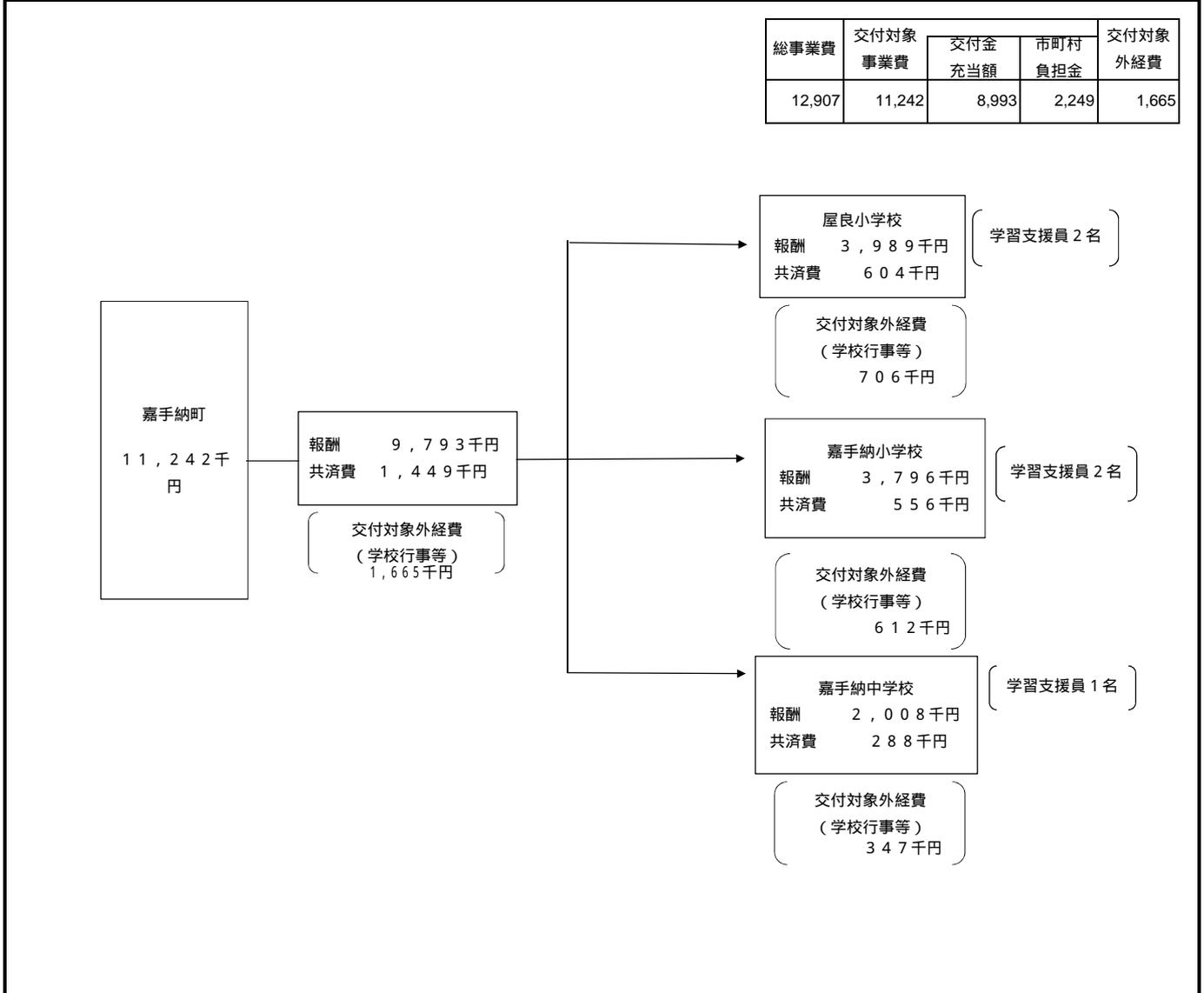
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>小学校において、目標を達し県平均まで到達している。対象児童のリストを作成することで対象者を明確にすることや、学級担任が授業を進めながら、学習支援員が対象生徒を1カ所に集めての個別指導を行うという体制が整いつつある。</p> <p>中学校においては年々改善が見られ前年度の-8.6ポイント差から縮まって目標値をクリアすることができている。授業によっては、対象生徒を明確化し、担当教諭と学習支援員の役割(対象生徒への個別対応)分担がなされてきているが、学校全体としては統一されていない。</p> <p>臨時的な休校で学習の定着が不十分な生徒が多くなることが予想される。</p>	<p>前年度より学習支援員が入れ替わったため、対象生徒の明確化と授業での学習支援員の役割を認識させ、授業時の支援の在り方について助言していく必要がある。</p> <p>担当教諭と授業のなかでの学習支援員の活用の仕方について協議しながら、適切な活用となっているか授業参観する必要がある。</p> <p>放課後において、定着が不十分な生徒への対応の時間を確保する必要があるため、学習支援員の勤務時間の見直しを図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

学習支援員の役割を再認識させるとともに授業時の支援の在り方について担当教諭、支援員ともに共有する場を年2回設定する。教育委員会が担当教諭、管理者と支援員の活用について協議の場を設け、学習支援員の役割、対象者、活用にあたっての前年度の課題について協議し、学習支援員の活用が効果的に行われるように、指導体制の統一を図る。

勤務開始時間を遅らせ、終了時間を17:00とすることで、定着が不十分な生徒や学習に不安をもつ生徒を対象とした時間を放課後に確保する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点れ、 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支援員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。費目・使途については、報酬と共済費のみであり、支援員配置事業に必要なものに限定されている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町												
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】														
事業番号・事業名	2-	英語力強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア								
	担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進								
事業内容	教育課程特例校として小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校は実用的な英語を学ぶため、英会話指導員を配置し、同時に中学校は個別の学習支援、英会話の実践化のための英語指導員を配置し、児童生徒の英語への興味・関心を高め、英語力向上を図る。													
効果発現年度	当年度		後年度(年度)											
実施方法	直接実施		委託		補助 負担 その他 ()									
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度				
		(a)当初予算額	15,881	17,876	17,865	18,074	18,277	(b)予算現額	16,132	16,908	17,136	16,919	17,686	
	(c)増減額(b-a)	251	968	729	1,155	591	(d)繰越額	-	-	-	-	-		
	A.計(b+d)		16,132	16,908	17,136	16,919	17,686	B.執行済額		16,132	16,908	16,489	16,288	15,636
	うち交付金充当額		12,906	13,526	13,191	13,030	12,508	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	96.2%	96.3%	88.4%	予算の状況の説明						
						一部の雇用者で欠勤が生じたこと、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があった。								
	活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況										
				H28年度		H29年度		H30年度		R1年度				
		英会話指導員配置数 学校3人、中学校2人	小	目標	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)						
実績			小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人								
英語指導員配置数 学校 1人	中	目標	(中学校1人)	(中学校1人)	(中学校1人)	(中学校1人)								
	実績	中学校1人	中学校1人	中学校1人	中学校1人									
達成状況説明	英会話指導員(ALT)を小学校3名、中学校2名に、英語指導員を中学校に1名配置した。小学校では、学級担任とALTとで連携し英会話の授業を展開している。中学校では、担当教師とALT、英語指導員で、英会話の授業を展開している。また、中学校では放課後の学習支援並びに英検対策講座をおこなっている。													
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)		H29年度		H30年度		R1年度		目標値(年度)			
	(小学校) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()							
		実績		84%	76%	73%								
	(中学校) 英語検定3級以上の合格者	目標	()	(50名)	(45名)	()	()							
		実績		31名	25名									
	(中学校) 英語検定3級以上を保有する生徒の割合	目標	()	()	()	(8.0%)	()							
実績					16.3%									
沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差 - 5.1ポイント以上	目標	()	()	(-2.8)	(-5.1)	()								
	実績			-1.7	+11.1									
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては、児童のアンケートで「英会話の授業が楽しいですか」の項目で、73%児童が楽しいと答え目標値を下回った。 ・中学校においては、3級以上を保有する生徒の割合は16.3%となり目標値を上回った。 ・沖縄県到達度調査の県平均との比較については、目標値を大きく上回ることができた。 令和元年度 沖縄県到達度調査(2月)の結果 ・中学校・・・英語:県平均59.9%、本町68.0%【+11.1ポイント】 													

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>小学校のアンケート結果について、小1～4の「楽しい」が89%で前年度より増加、小5は61%、小6は36%で、とくに6学年で学習意欲が低下している。授業が一斉指導に偏っていたため、意欲を高める授業を行えていなかったと考えられる。</p> <p>中学校においては、英検の受験者数が前年度より減少していたものの合格者数の割合は増加している。(合格率H30年度45% R1年度69%)対策の講座のみならず、授業のなかで表現する活動が比較的多くみられたこと、参加者への指導が充実してきたと大きな要因と考えられる。</p> <p>沖縄県学力到達度調査について、昨年度平均より-1.7ポイントが+11.1ポイントとなり、目標を達成している。授業のなかでアウトプットを中心とした授業の展開が成果を上げた大きな要因であると考えられる。</p> <p>臨時的な休校で学習の定着が不十分な生徒が多くなることが予想される。</p>	<p>アウトプットを中心とした授業改善をおこなうことで、児童の英語に対する関心意欲を高め、英語に親しむ環境を整える必要がある。</p> <p>キャリア教育と関連付けながら英検取得への意欲を高め英検への対策講座への参加者を多くする取り組みが必要である。</p> <p>今後も継続、充実させる。</p> <p>放課後において、定着が不十分な生徒への対応の時間を確保する必要があるため、英語指導員の勤務時間の見直しを図る必要がある。</p>

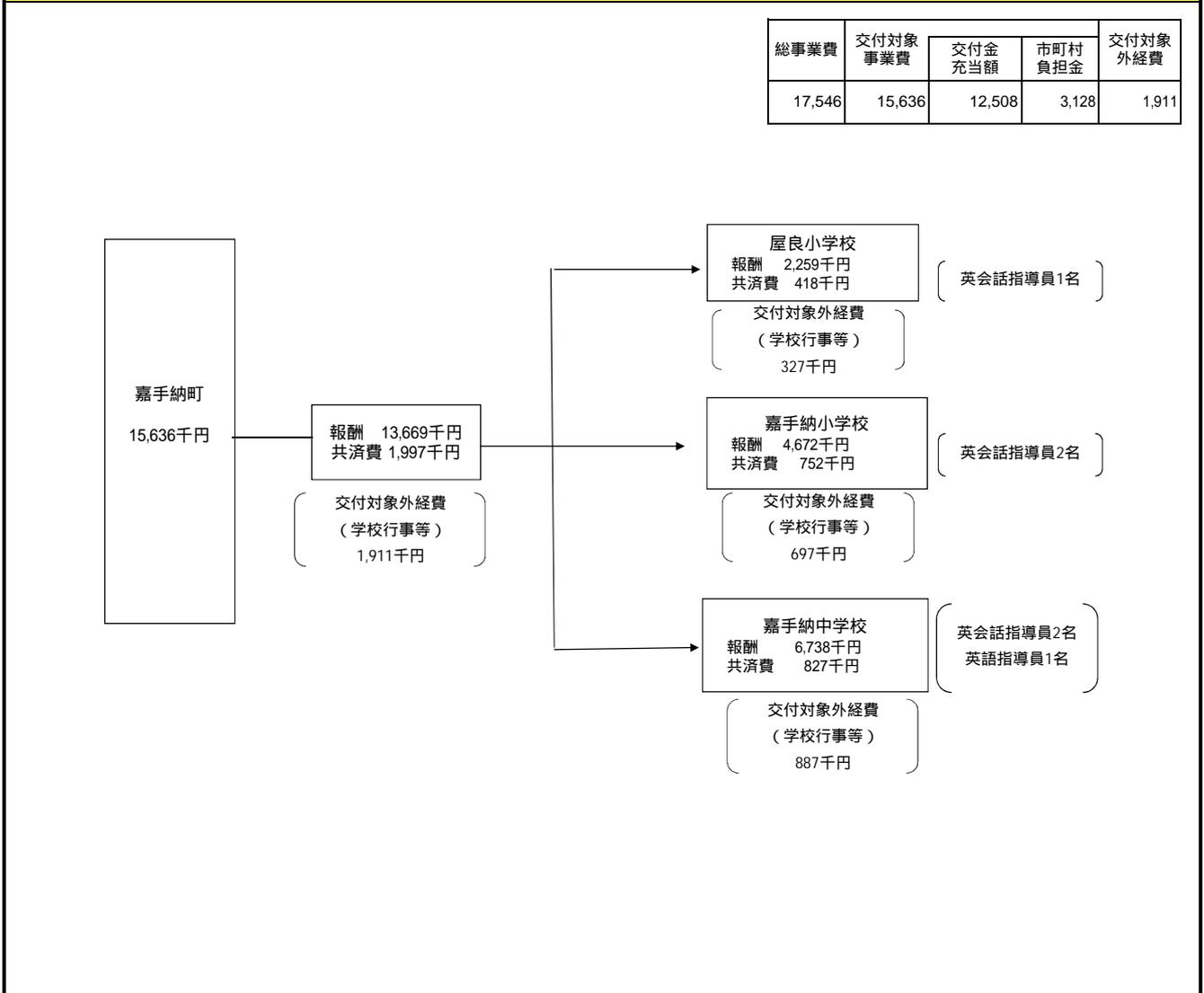
今後の取り組み方針

アウトプットを中心とした授業となり、英会話指導員(ALT)が適切に活用されているか定期的な学校訪問で確認し、指導助言をおこなう。中学校においては、キャリア教育と関連付けながら英検取得への意欲を高め、受験者数の増加及び合格者数の増加を図る。また、対策講座への参加者増加のため、参加者個人へのアナウンス強化や問題の準備を充実させる。

英語の授業のなかで、毎時の授業のなかでアウトプットする場面を設定し、生徒の活用力を高めることで意欲の向上及び目標達成を目指す。

勤務開始時間を遅らせ、終了時間を17.00とすることで、定着が不十分な生徒や学習に不安をもつ生徒を対象とした時間を放課後に確保するとともに、英検対策のみならず、授業の補習もあわせて実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点、 評価 目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	指導員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。費目・用途については、報酬と共済費のみであり、英語力強化事業に必要なものに限定されている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	ICT活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24-令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 -3-(1)	
事業内容	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、情報機器等の操作能力の向上を支援するICT支援員を配置することにより、教員のICT機器の習熟度及び学校教育の質を確保する。						
効果発現年度	当年度 後年度(年度)						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	7,050	7,074	7,080	7,091	7,093
	(b)予算現額	6,113	7,082	6,753	6,628	4,585	
	(c)増減額(b-a)	937	8	327	463	2,508	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	6,113	7,082	6,753	6,628	4,585	
	B.執行済額	6,113	7,082	6,751	6,628	3,990	
	うち交付金充当額	4,890	5,665	5,401	5,303	3,192	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.0%	
予算の状況の説明	中学校で雇用予定枠の1名が雇用できなくその分減額、また、一部の雇用者で欠勤が生じたこと、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	パソコン指導員配置数 小学校:2人、中学校:1人	目標	(小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	
		実績	小学校2人 中学校1人	小学校2人 中学校1人	小学校2人 中学校1人	小学校2人 中学校0人	
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	各学校に1名のパソコン指導員を配置し、PC教室の環境づくりや関連機器の準備、電子黒板の活用アイデアの提供を行った。授業の際は、児童生徒への機器操作の指導を補佐した。しかしながら、中学校においては配置することができなかった。そのため例外的な処置として、年度途中から小学校配置の支援員を定期的に中学校へ派遣した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			86%	88%	
	教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			96%	60%	
	進捗状況説明	教師のICT機器の使用率は、電子黒板92%、書画カメラ87%となっており、ICT機器を活用した授業を分かりやすかったと答えた児童生徒の割合は88%となって目標値を達成している。 また、ICT支援員の支援により機器が有効に活用できたと答えた教師は60%であった。					

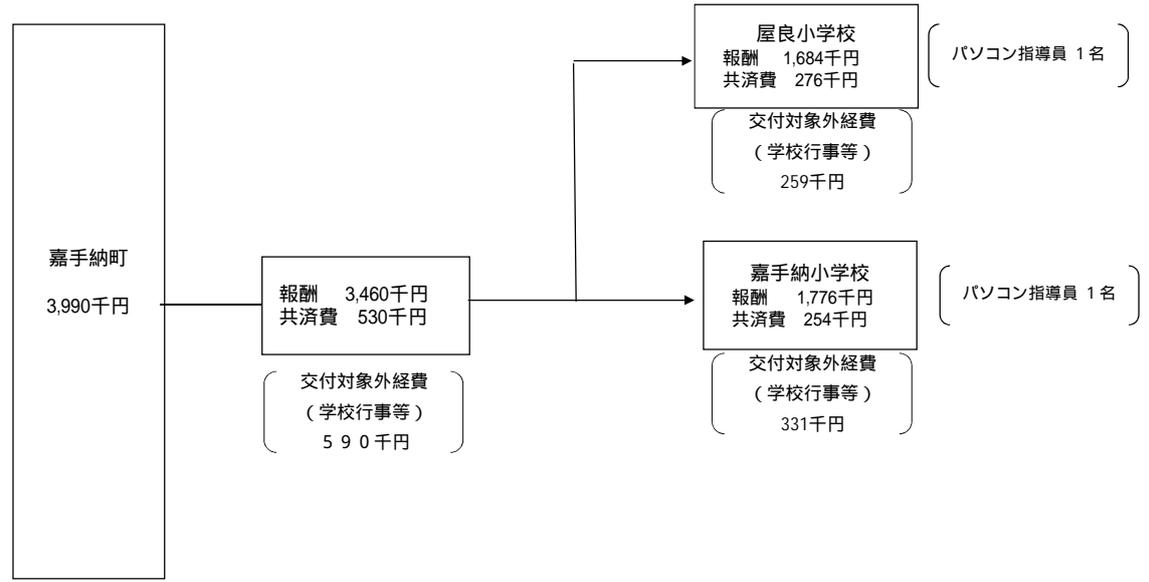
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>3名の配置予定であったが2名しか雇用できなかった。そのため配置できなかった中学校では、「支援が得られなかった」の回答が多くなり、結果として目標値を大きく下回る結果となった。雇用人数が確保できなかったためパソコン指導員から支援を十分受けることができなかった。</p> <p>社会情勢の変化から新型コロナの影響で、ICTを積極的に活用した学校教育の展開求められている。</p>	<p>指導員を計画的に巡回させて支援させることで、多くの教師に対して授業でのICT機器活用の支援し、子どもたちが分かりやすい授業の展開を図る。</p> <p>ICTを積極的に活用した学校教育の展開</p> <p>「3密」を避ける対策の取り組みとして、人が集まることを避けながらも、集団に対して一斉に指導できるようにICTを活用する必要がある。</p> <p>インターネットを活用した教育活動が必要である。</p>

今後の取り組み方針

両小学校においては週3回配置、週2回配置を隔月で行う。中学校においては常駐する。
 学校ネットワークを利用して動画のライブ配信について、マニュアル作成や教師への支援、機器の整備・調整をこなう。
 動画配信、Web会議等の実施に向けた、制作、実施に向けての教師の支援をおこなう。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付対象外経費	
4,580	3,990	3,192	798	590



資金の流点れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>支援員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。</p> <p>費目・使途については、資金と共済費のみであり、支援配置事業に必要なものに限定されている。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	不登校対策生徒指導支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24-令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 -3-(1)	
事業内容	不登校の生徒に対して家庭や関係機関と連携を図りながら特別な支援をしていくことで、学校復帰等の不登校の改善を図るため、指導支援員を配置する。						
効果発現年度	当年度	後年度()年度					
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	3,493	3,481	3,540	3,541	3,796
	(b)予算現額	3,128	2,589	3,151	3,566	1,854	
	(c)増減額(b-a)	365	892	389	25	1,942	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	3,128	2,589	3,151	3,566	1,854	
	B.執行済額	3,128	2,589	3,151	3,565	1,671	
	うち交付金充当額	3128	2,071	2,520	2,852	1,336	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.1%	
予算の状況の説明	当初2名雇用予定であったが、1名しか人員確保できなかったため1名分の予算支出になった。また、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	生徒指導支援員配置数 中学校:2人	目標	(中学校2人)	(中学校2人)	(中学校2人)	(中学校2人)	
		実績	中学校2人	中学校2人	中学校2人	中学校1人	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	中学校へ不登校対策生徒指導支援員(2名)を配置し、生活リズムの崩れた不登校生徒へ登校支援や生活指導、悩み相談を実施した。また、登校しても学級へ復帰できていない生徒に対して校内での居場所づくり、学習支援等の支援をおこなうことであったが、1名の配置ができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		不登校生徒復帰率 25%以上	目標 () () (16.70%) (25%) ()	実績	30%	16%	
		目標	() () () () ()	実績			
		目標	() () () () ()	実績			
	進捗状況説明	令和元年度の3月時点で、累計での不登校生徒18名に対して3名が復帰できたため、不登校復帰率は16%となり、目標値を達成することができなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>目標値を達成できなかった要因のひとつとして、不登校生徒数の増加があげられる。教室への復帰は平成30年度、令和元年度とも3名であったが、不登校生徒の数は、平成30年度は7名、令和元年度は18名と増加し、新規数の増加が目立った。これまでの不登校生徒は、学校の指導に反発しての不登校および時差での登校が多かった。令和元年は人間関係のトラブルからの集団への心因的な不登校生徒の増加が目立つ。</p> <p>学校での取り組みは、登校してきた生徒(とくに身なり、服装違反をしての登校の生徒)の教室復帰に向けての支援を重視していたため、集団になじめない等心因的な要因での不登校生徒に対しての家庭訪問等の登校支援が不十分であったと考えられる。</p>	<p>生徒間トラブルから派生する、集団になじめない等心因的要因の不登校生徒の早期発見のための取組が必要である。</p> <p>欠席が続く生徒への早期対応、不登校の要因に合わせた計画的な対応の取組の強化が必要である。</p> <p>学校へ登校してきたが、まだ教室へ復帰できない生徒の居場所を確保し、その際の支援を充実させる必要がある。</p>

今後の取り組み方針

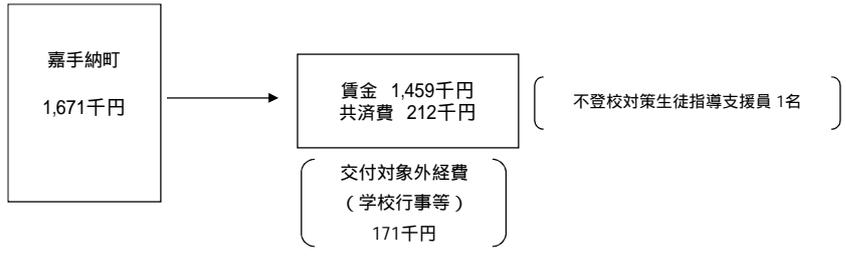
発生した生徒間トラブル等から関係者を的確に把握し、欠席が続く前に対象生徒へ積極的な声をかけや関係づくりに努めることで、学校での居場所づくりや欠席時のスムーズな登校支援に移行する。

生徒指導補助員は、理由なし欠席3日間以上の生徒への家庭訪問と欠席が続く生徒の実態に応じて、定期的な家庭訪問をおこない登校支援をおこなう。

生徒指導補助員は、登校してきたが教室へ入れない生徒に対して教室以外の場所を確保し、対象生徒に合わせた教室復帰にむけた学習支援、作業学習、教育相談などの支援を充実させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
1,843	1,671	1,336	335	171



資金の流 れ、 点 検、 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	<p>支援員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。</p> <p>費目・使途については、賃金と共済費のみであり、支援配置事業に必要なものに限定されている。</p>
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	秋田交流学習体験事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 -3-(1)	
事業内容	教育先進地である秋田県大館市学習体験事業を行うことで、児童生徒は学習規律を学び、教師は指導法や授業づくりについて学ぶ、また秋田県の授業の実践や授業改善等の研修を行うため、大館市の教師を招聘し、秋田型授業のよさを理解し各学校の授業改善を図る。						
効果発現年度	当年度		後年度()年度				
実施方法	直接実施		委託		補助 負担 その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	3,985	3,814	3,308	3,900	4,235
	(b)予算現額	2,862	2,853	2,944	3,142	3,322	
	(c)増減額(b-a)	1,123	961	364	758	913	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	2,862	2,853	2,944	3,142	3,322	
	B.執行済額	2,862	2,853	2,944	3,141	3,322	
	うち交付金充当額	2,289	2,282	2,355	2,513	2,657	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	補正予算額(758千円)は、委託料の入札残(755千円)と対象外経費(3千円)である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
	秋田県への派遣・児童生徒 20名・教師 9名	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	秋田県からの招聘・教師 3名	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	達成状況説明	<p>・10月に小中学生20名、教諭7名、校長2名を秋田県大館市へ派遣した。児童生徒は、各学校で現地の小中学校で授業や学校行事を体験した。本町教諭は現地の教諭とのチームティーチングや教材研究、授業実践をおこない、教頭は小中それぞれの校長との意見交換の機会をもち学校経営等について説明を受けた。しかしながら、台風の襲来により小学生と教員1名、校長1名は行程の途中で沖縄へ戻ることとなった。</p> <p>・9月に秋田県大館市より校長1名、教諭2名を招聘した。招聘した校長が本町の校長との学校経営等に関する意見交換をおこなった。招聘した教師は、本町の教諭とのチームティーチングや教材研究、示範授業をおこなった。</p>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	(派遣された児童生徒へのアンケート)・学習規律を学ぶことができたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			100%	100%	
	(研修会や報告会を受けた教師へのアンケート)・授業環境の改善や指導法の工夫を行っていかうというスキル・意欲が身に付けられたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			63.30%	93%	
	進捗状況説明	<p>派遣された児童生徒のアンケートでは、どの生徒も「学習規律について学ぶことがたくさんあった」と回答している。「発表者に体を向けている」「途中で質問しない」などの聞く態度や「大きな声でたって発表する」「聞いている人の反応を確認しながら話す」など話す態度を学んだとの声があった。教師のアンケートでは、「授業の質の向上に向けた、学校や教科の壁を越える取組」について参考になったかで93%が肯定的な回答をしていることや、記述のなかに「子ども達の指導に生かしていきたい」「精一杯できることから始めたい」など教育に対する意欲の高まりを示す感想が多くみられた。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>教師や児童生徒のアンケートでは成果目標を達成しており、「小1から小6まで縦割りで行う清掃活動」「授業のなかで子供たちにかかる、多くのほめ言葉」など体験から学んだことを実践しており、成果が感じられる結果となっている。しかしながら台風の影響で、学びの連続性を見るために予定されていた小学校教師が中学校を、中学校教師が小学校教師が中学校を視察する行程が削除されたり、小学生が学んだことを振り返る時間を現地で確保することができなかった。</p>	<p>引き続き児童生徒の派遣を実施し、多くの生徒に学習規律が学べる機会を提供していく。また、学んできたことを実践させるため、教師へのはたらきかけを強化する必要がある。</p> <p>小中の学びの連続性を見ることで、成長の系統性を確認し、授業改善の必要性や改善への意欲の向上に資すると考えるため、実施が必要である。</p>

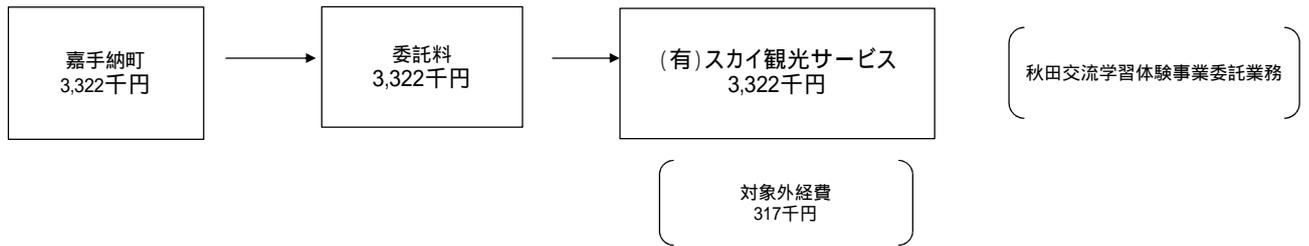
今後の取り組み方針

体験してきた児童生徒が、学んできたことを広げるリーダーとしてのはたらきが活性化するように話し合いの場を設定し、助言支援する。

小学校教師は中学校へ中学校教師は小学校へ移動して授業参観し、小中の学びの連続性を本町の現状と比較させることで、小中連携した授業改善の必要性を認識させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

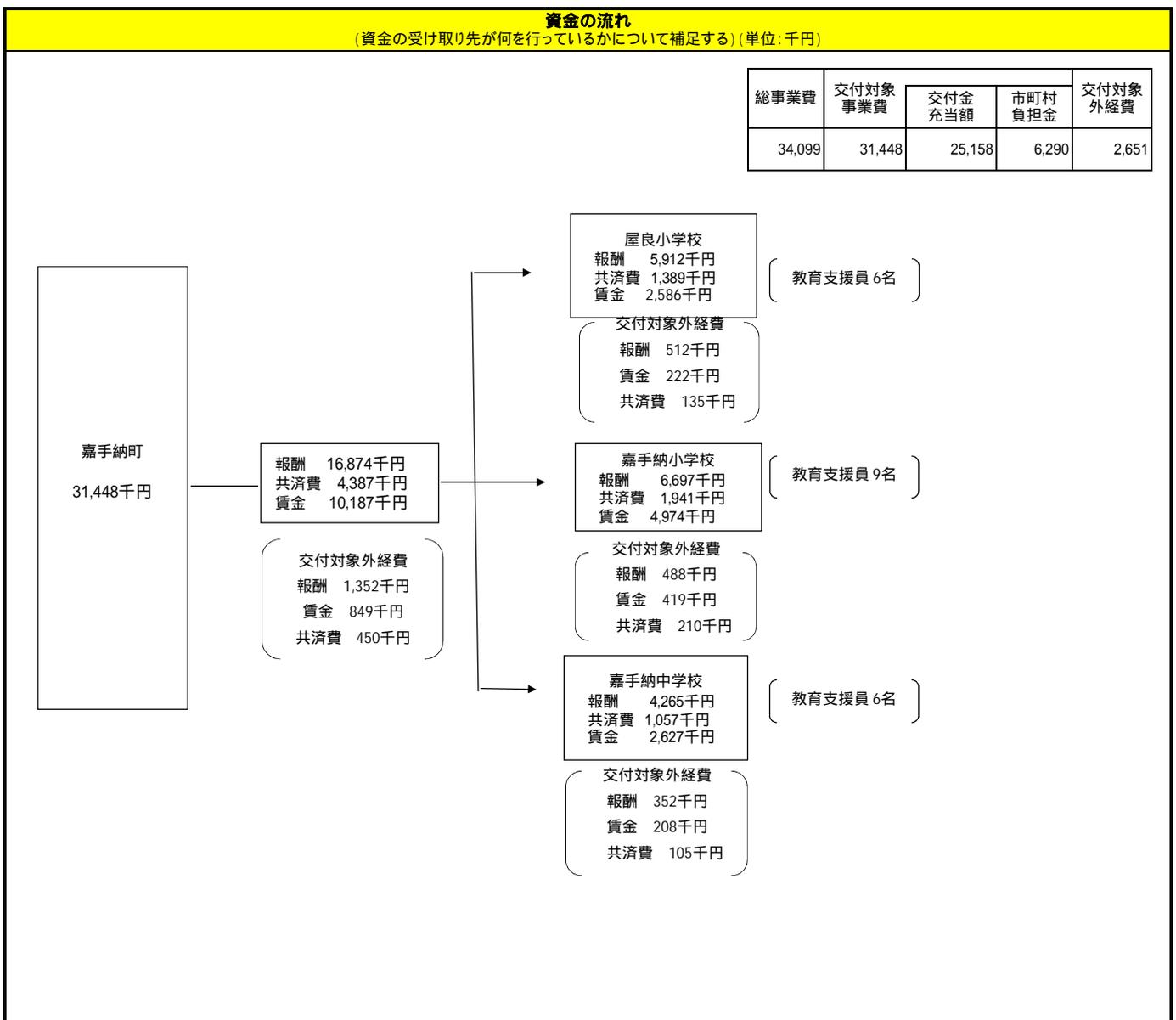
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,639	3,322	2,657	665	317



資金の流 点れ、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は入札により選定している。予算規模は業者より見積を徴し、計上したものであり、適正である。費目・使途は事業目的に則し、移動や宿泊等必要なものに限定されている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 -3-(1)	
事業内容	発達障害等により特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置する。						
効果発現年度	当年度		後年度(年度)				
実施方法	直接実施		委託 補助 負担		その他 ()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額		40,292	47,862	45,459	43,306
	(b)予算現額		30,530	45,575	36,929	34,247	
	(c)増減額(b-a)		9,762	2,287	8,530	9,059	
	(d)繰越額		-	-	-	-	
	A.計(b+d)		30,530	45,575	36,929	34,247	
	B.執行済額		30,530	44,225	34,162	31,448	
	うち交付金充当額		24,423	35,380	27,329	25,158	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	100.0%	97.0%	92.5%	91.8%
予算の状況の説明	雇用確保できず2名分の予算を減額した。また、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
	特別支援教育支援員配置数 小学校:16人、中学校:7人	目標	(小学校16人 中学校 7人)	(小学校20人 中学校 8人)	(小学校20人 中学校 8人)	(小学校16人 中学校 7人)	
		実績	小学校23人 中学校 8人	小学校17人 中学校 8人	小学校16人 中学校7人	小学校15人 中学校6人	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
	達成状況説明	小学校に15名、中学校に6名の支援員を配置し、対象児童生徒(小学校30名、中学校15名)に対し、授業等、学校生活におけるリズムを整えさせ、学校生活におけるコミュニケーションや学力の習得するための環境づくりの支援をすることができた。しかし、小学校では5名、中学校では2名を配置することができなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			85%	92%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	対象となる児童生徒の保護者に対し、支援員の配置によって子どもの学校生活や学習上の困り感が改善されたかについてアンケートを取ったところ、「とても改善された」「改善された」の数値の合計が92%となり、目標を達成した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	アンケートの記述欄には、概ね肯定的な内容が記されていたが、「サポーターと子ども達の相性」「サポーターの力量不足」についての課題が上がっていた。また、小学校からの報告書で、研修により、サポーターの支援の方法やかかわり方の改善がみられた記載があるため、有効な研修であったと判断する。中学校からの報告書には、サポーター1人あたりの対象生徒の数の多さで、十分な支援が提供できていない様子がうかがえる。	児童生徒の成長と共に、状況はたえず変化するので、継続して支援員個々のスキルアップのために研修会をもつ必要がある。 教育サポーターの配置数を目標配置数達成する必要がある。
	今後の取り組み方針	
支援員個々のスキルアップのための研修を年に6回開催し、どの対象児も満足する支援を受けられるようにする。 年間を通して配置するために、ハローワークとの定期的な連絡をおこなう。		



資金の流点、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支援員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。費目・用途については、賃金、報酬、共済費のみであり、支援配置事業に必要なものに限定されている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	「嘉手納町の歴史と文化」刊行事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
事業内容	嘉手納町の歴史文化の継承を図るため、本町の歴史と文化をまとめた副読本を刊行、小中学校に配布し、社会科の授業や総合的な学習の時間で活用する。						
効果発現年度	当年度		後年度(年度)				
実施方法	直接実施		委託 補助 負担		その他 ()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度					
		(a)当初予算額	13,115				
		(b)予算現額	13,310				
		(c)増減額(b-a)	195				
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)		13,310				
	B.執行済額		13,310				
	うち交付金充当額		10,648				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		予算額(13,310千円)は、委託料の入札残(13,310千円)である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	副読本「嘉手納町の歴史と文化」の内容及び構成の検討、製作	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	中学校の社会科や総合的な学習の時間の年間指導計画への位置づける。 副読本を活用した授業実践	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				未実施	
達成状況説明	本町の教育目標(郷土を愛する心の育成)を具現化した「ふるさと教育」を推進するための学習教材として、本町の歴史と文化をまとめた副読本(デジタルブックを含む)を刊行した。刊行後は、小・中学校に配布したが、配布時期が3月末ということもあり、予定であった社会科の授業や総合的な学習の時間で活用はまだなされていない。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	児童生徒に対するアンケートを実施し、町の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	()	(80%)	()
		実績				未実施	
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	活用がまだないのでアンケート調査は未実施である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	副読本の配布時期が3月末ということもあり、予定であった社会科の授業や総合的な学習の時間で活用できなかったため、活用後の検証を行う必要がある。	町内各小中学校での副読本の活用方法について検討する会議をもち、発達段階に応じた統一や系統だてた「ふるさと教育」を推進する必要がある。 小学校においては、地域を学習する際に活用する。 中学校においては、副読本が効果的に活用されるために計画に位置づける必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>「ふるさと教育推進協議会」を立ち上げ、年間3回の会議をもち、両小学校における統一した活用や小学校から中学校へと系統立てた活用について検討する。 小学校では、地域をのことについて調べる学習の際に資料として活用する。 中学校の社会科や総合的な学習の時間の年間指導計画への位置づけ、授業で活用するとともに、学習したことの発表会をおこなう。 以上の取り組みを進めながらアンケートを実施し効果を検証する。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	13,310	13,310	10,648	2,662	0
<pre> graph LR A[嘉手納町 13,310千円] --> B[委託料 13,310千円] B --> C[丸正印刷 株式会社 13,310千円] subgraph Project C end </pre>					

資金の流 れ、 点 検 、 費 目 、 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については、執行率95%以上であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	雇用促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部課名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 -2	
事業内容	就職相談窓口の開設及び就職支援セミナーを開催し、就労支援を行うことで、新規就労者の増加を図る。						
効果発現年度	当年度	後年度()年度					
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	(a)当初予算額	3,864	3,609	3,464	3,306	3,298	
	(b)予算現額	3,557	3,539	3,307	3,306	3,257	
	(c)増減額(b-a)	307	70	157	0	41	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	3,557	3,539	3,307	3,306	3,257	
	B.執行済額	3,557	3,539	3,306	3,281	3,256	
	うち交付金充当額	2,846	2,831	2,645	2,625	2,604	
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	100.0%	
予算の状況	予算の状況の説明 事業計画どおりに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	相談窓口開設(毎週火・金曜日)	目標	(100回)	(95回)	(95日)	(92日)	
		実績	98回	95回	95日	92日	
	セミナーの開催日数	目標	(50回)	(45回)	(45回)	(45回)	
		実績	49回	45回	45回	45回	
達成状況説明	相談窓口、セミナーともに計画通り実施し、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	相談者及び受講者のうち、就職が決まった人数	目標	()	(10人)	()	(11人)	()
		実績		8人		7人	
	相談者及び受講者の内、就職が決まった人数の割合	目標	()	()	(5.7%)	(5.5%)	()
		実績			5.9%	2.3%	
	進捗状況説明	・嘉手納町民の利用人数(窓口相談人数及びセミナー受講者数)は延べ307人であった。 ・窓口相談人数は前年度より68%増加したが、セミナーでは新たに16個の新しいテーマを開催したにも関わらずの受講人数は例年並みであった。 ・就職した人数は7人であり、その割合は2.3%となり、目標の5.5%を達成することが出来なかった。 ・軽微な相談のため相談カルテ作成に至らなかった人を除き、相談カルテ作成まで至った実質的な人数は31名であった。					

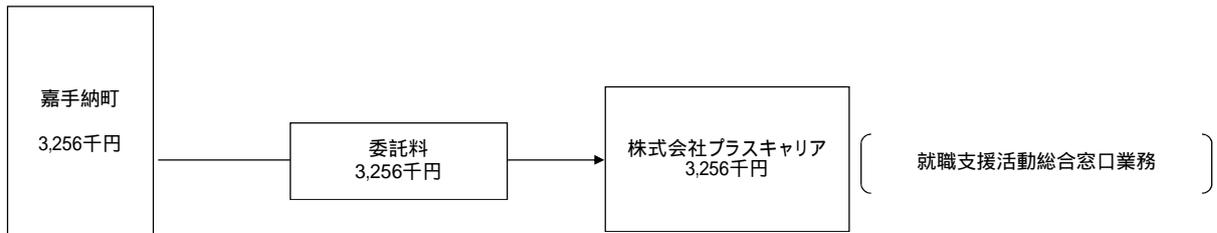
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数は前年比50%増加したにも関わらず、後追い調査できた人数は前年比32%の19名であり、その結果就職が決まった人数の割合が少なくなってしまったことが原因と考えらえる。 ・窓口相談者は求人情報や各種セミナー情報の閲覧が目的で相談窓口ブースを訪れた方が多く、相談カルテ作成にまで至らず、結果、後追い調査可能な人数が少なかった。 ・後追い調査は委託事業者の社用携帯で行っているため、知らない番号からの着信は無視されるケースが多く、何度かけ直しても繋がらず、後追い調査が行えない利用者が多かった。 ・後追い調査が出来た人数に対する就職が決まった人数の割合で計算すると、過去3年間の平均は21.4%であるが、R1年度は36.8%であり、過去の実績を上回る。また、利用者アンケート結果からも利用者の98.9%が満足と回答していることからR1年度の事業の成果はあったと考える。 ・セミナーの受講人数が伸びないのは、町内で開催されること及び不特定多数の方が参加することから、知人に会うことを警戒していることが要因のひとつと考えられる。 ・利用者アンケート結果より、本事業を知った経緯の60%は役場訪問時であり、次に多いのがチラシを見たの30%であるので、チラシでの周知は効果的と考える。 ・相談窓口ブースにて町内企業の求人情報を掲示しており、利用者アンケート結果からもその需要があることがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談そのものが目的でない利用者の場合、個人情報教えることに抵抗があるため、相談カルテ作成を拒否されることはある程度仕方ないと考える。 ・後追い調査はどこからの着信かわかるようにするため、委託事業者の固定電話からかけるように指導し、より多くの利用者に調査が行えるよう改善が必要である。 ・セミナー受講者が伸び悩んでいることから、セミナーを廃止し、町民の失業率改善に寄与する新たな試みの検討が必要である。 ・本事業周知に係るチラシの設置場所別の効果を検証し、宣伝方法について検討していく必要がある。 ・利用者の利便性を高めるため、ハローワークの求人情報の収集だけでなく、ハローワークに求人を出さないような町内事業者からの求人情報を収集するため、町内事業者へ直接求人情報の募集を行う。

今後の取り組み方針

- ・より多くの町民に後追い調査が行えるよう実施方法を改善する。
- ・町民の失業率改善に寄与する新たな施策を検討する。
- ・チラシの設置場所の検討及び検証を行い、より効果的な広告宣伝が行えるようにする。
- ・ハローワーク及び町内事業者より求人情報を収集し、利用者へ情報提供を行い、利便性を高める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
3,256	3,256	2,604	652	0



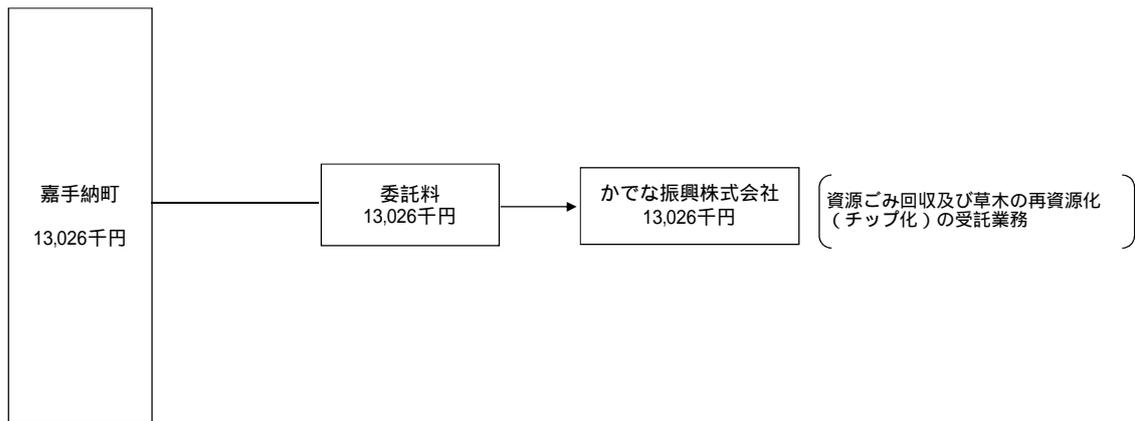
資金使途の流れ、点検、評価目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 予算規模については、執行率95%以上であり適正な規模であった。 費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	廃棄物リサイクル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア	
担当部課名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25-令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進	
事業内容	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。						
効果発現年度	当年度	後年度()年度					
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	15,491	13,397	11,831	11,928	13,837
	(b)予算現額	11,374	11,843	11,769	12,376	13,404	
	(c)増減額(b-a)	4,117	1,554	62	448	433	
	(d)繰越額	-					
	A.計(b+d)	11,374	11,843	11,769	12,376	13,404	
	B.執行済額	11,374	11,842	11,742	12,384	13,026	
	うち交付金充当額	9,099	9,474	9,393	9,907	10,420	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.8%	100.1%	97.2%	
予算の状況の説明	9月下旬から11月上旬にかけてリサイクラー修繕のため破碎作業が停止したため、昨年度下旬に代替日を設ける予定であったため予算額は留保としていた。しかし、作業工程の見直しを実施し、作業方法の変更を指示した結果、代替日の必要が無くなり、稼働日の減少により当初予算より執行済額が減少している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	目標	(木くずの再資源化)	(木くずの再資源化)	(分別徹底の周知)	(草木の回収及び再資源化の実施)	
		実績	木くずの再資源化(チップ化実施)	木くずの再資源化(チップ化実施)	分別徹底の周知済	全草木ごみの再資源化済	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	草木を分別回収し、チップ化(再資源化)することにより一般廃棄物14%の削減を達成。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (H28年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (R2年度)
		草木の再資源化(チップ化後の重量) 656t以上/年	目標	(600t)	(600t)	(683t)	(656t)
		実績		604t	600t	631t	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	搬入された草木ごみは全てチップ化し、631tとなっている。過去の搬入量の平均を取って目標を656tと設定しているが、搬入量により実績は変動するものと考え、目標指数を達成していないが、全ての草木ごみをチップ化完了しているので目的は達成されていると判断しております。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	リサイクラーについてはR1年度においてベアリング修繕に一月半を要したなど大きな修繕が突発した。耐用年数を超過している状況などから機器更改の時期を検討する必要がある。	物品使用貸借契約の中でメンテナンスについて定められており、その方法についてメーカーの方に確認を再度実施し、その徹底をR1年度より実施している。定期自主点検も継続実施し、機器の延命を図る。
今後の取り組み方針		
R1年度に実施したリサイクラーの稼働実験の結果を重視し、作業にあたるオペレーターへその情報を提示し、草木の破碎割合などを検討しつつ、効率的作業による能率的に向上するように指示していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,026	13,026	10,420	2,606	0

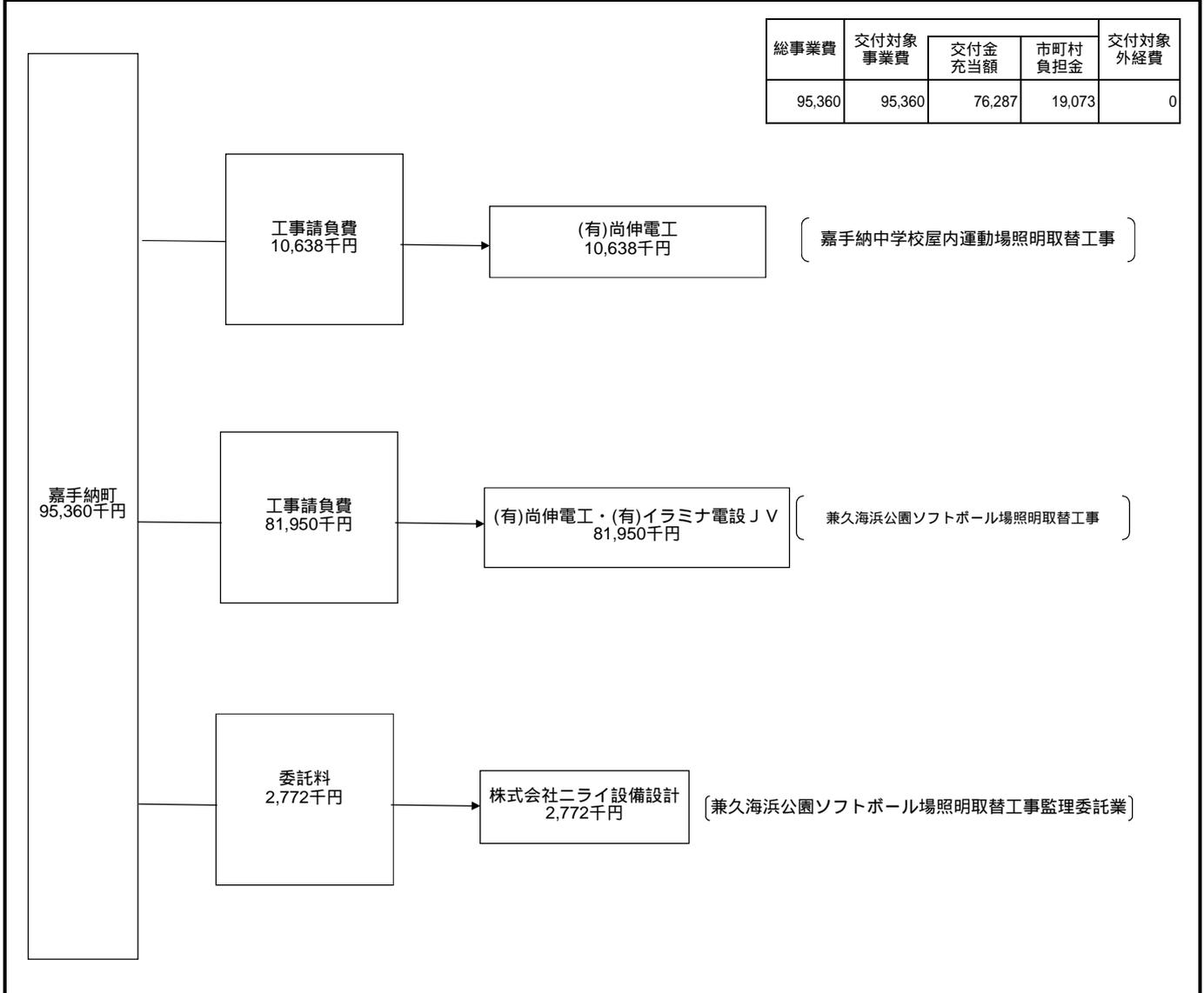


資金の流 点検、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	回収については停止させることが不可能なため随意契約としているが、破碎業務については入札としたことから、委託業者については妥当と考える。 予算規模に関しましては、従業員給与等と契約金額を比較しその妥当性を確認しております。 費目・用途に関しましては、毎月精算しており、全て確認しております。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア
担当部課名	嘉手納町教育委員会 教育総務課、社会教育課		事業実施(予定)年度	平成30年～令和3年度		地球温暖化防止対策の推進
事業内容	照明機器の使用によるCO2の排出量を削減するため、公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える事業である。					
効果発現年度	当年度		後年度(年度)			
実施方法	直接実施		委託 補助 負担		その他 ()	
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		(a)当初予算額	46,156	119,200		
		(b)予算現額	45,478	95,360		
		(c)増減額(b-a)	678	23,840	0	0
		(d)繰越額	-			
	A.計(b+d)		45,478	95,360	0	0
	B.執行済額		45,468	95,360		
	うち交付金充当額		36,374	76,287		
	次年度繰越額		-			
	執行率(%) (B/A)		99.98%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。				
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況			
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	嘉手納中学校屋内運動場照明設備のLED化	目標	(中学校屋内運動場照明設備)	()	()	()
		実績	中学校屋内運動場照明設備完了			
	兼久海浜公園ソフトボール場屋外照明設備LED化	目標	(ソフトボール場屋外照明設備LED化)	()	()	()
		実績	ソフトボール場屋外照明設備LED化完了			
達成状況説明	当初予定通り、工事を実施し完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		R1年度	R2年度		
	嘉手納中学校屋内運動場	目標	(2,290kg)	()	()	()
		実績	2,290kg-CO2/年			
	兼久海浜公園ソフトボール場	目標	(5,410kg)	()	()	()
		実績	5,410kg-CO2/年			
	進捗状況説明	切り替えた器具による二酸化炭素排出量の削減できた。				

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> CO2削減のため、機器の切替を行ったが、利用者の節電対策が必要である。 第2次嘉手納町地球温暖化防止実行計画で策定したCO2削減に目標に向けた取組をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 機器の切り替えによるCO2の削減は図られた。 第2次嘉手納町地球温暖化防止実行計画で策定した温室効果ガス(CO2)の排出削減に向けては更に削減努力を要する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標(3,193,655kg-CO2)の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進していく。 ・日頃から施設利用者に対し節電対策への取組を行わせる。</p>		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)



資金の流 点検、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

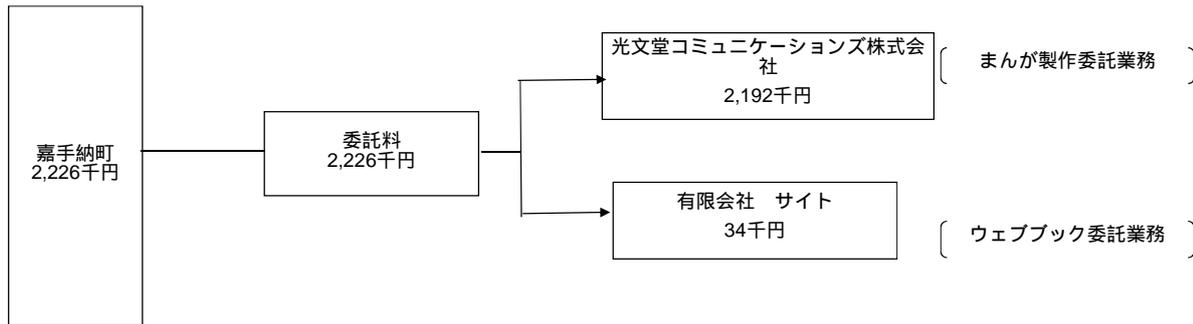
市町村名		嘉手納町				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	6-	食育まんが啓発推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア
	担当部課名	町民保険課	事業実施(予定)年度	平成26～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 - 4
事業内容	食育まんがを通じて栄養バランス等を含めた健康的な食生活の情報を周知することで、町民の食生活の改善に対する意識の向上を図る。					
効果発現年度	当年度 後年度(年度)					
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	2,138	2,138	2,394	2,280
	(b)予算現額	2,138	2,138	2,174	2,173	2,259
	(c)増減額(b-a)	0	0	220	107	40
	(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A.計(b+d)	2,138	2,138	2,174	2,173	2,259
	B.執行済額	2,138	2,138	2,173	2,172	2,226
	うち交付金充当額	1,710	1,710	1,738	1,737	1,780
	次年度繰越額	-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	98.5%
予算の状況の説明	当初の計画どおり期間内に事業が完了した。不用額33千円については委託の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	まんがの制作(2本)	目標	(2作品)	(2作品)	(2作品)	(2作品)
		実績	2作品	2作品	2作品	2作品
	対象者への配布数(4,970部×2作品)	目標	(100%)	(100%)	(4,970部×2作品)	(4,970部×2作品)
		実績	100%	100%	4,970部×2作品	4,970部×2作品
ウェブブック化(2本)	目標	()	(7本)	(2本)	(2本)	
	実績		7本	2本	2本	
達成状況説明	食育まんがを2作品作成し、各世帯(4,970部)に配布及びウェブブックを2本掲載した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		[R1成果目標] アンケート調査を実施し、食生活の改善に対する意識の向上が図られたか	()	()	(80%)	(87%)
				86.8%	99%	
	[参考指標]	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	令和元年度12月～1月に町民向けのアンケート調査を行った。集計した結果、食生活の改善に対する意識の向上が図られた者の割合は、目標値87%以上の99%の結果となった。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>〔食生活の改善に対する意識の向上〕</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果より食生活の改善に対する意識の向上が図られた者の割合が目標値87%より改善し意識の向上に関して目標を達成した。 実際に食育まんがに掲載されている沖縄料理を家庭で作る者の割合が昨年度より改善した結果だった。 目標を達成した要因は、各世帯へ配布したことによって、食育まんがの周知の向上及びHPの活用につながったことで、意識の向上につながったと考えられる。また、食育教室により、調理実習を体験することが意識の向上に効果があったと考えられる。 	<p>〔食生活の改善に対する意識の向上〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育まんがは、各世帯へ配布及び食育まんが(11本)を町のHPに掲載しており、食育まんがを手軽に活用できる環境になったことに加え、食育教室等の取組を行うことで食生活の改善に対する意識の向上が図られ、目標達成した結果となった。

今後の取り組み方針
<p>・今後も、食育教室等を開催し、食育まんがを活用して食生活の改善に対する意識の向上を図る。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,226	2,226	1,780	446	0



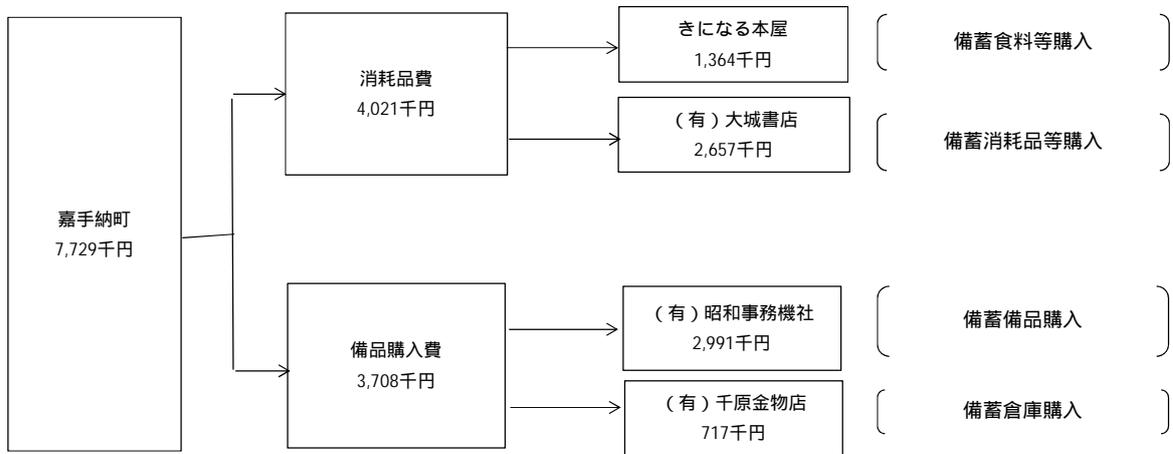
資金の流点検、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>○公募型プロポーザル方式により民間業者より選定し随意契約した。</p> <p>○予算規模は2社から見積りを徴し、比較及び検討した結果、適正な規模と考える。</p> <p>費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	避難施設防災機能強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 -10-(2)	
事業内容	防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品等の導入及び備蓄倉庫の整備を行い、災害時の町内避難者や観光客等の食料及び飲料水等の確保を図る。						
効果発現年度	当年度		後年度(R2年度)				
実施方法	直接実施		委託 補助		負担 その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	(a)当初予算額	35,787	15,788	30,143	15,156	8,218	
	(b)予算現額	29,334	14,710	30,143	12,771	7,730	
	(c)増減額(b-a)	6,453	1,078	0	2,385	488	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	29,334	14,710	30,143	12,771	7,730	
	B.執行済額	29,334	14,710	27,550	12,771	7,729	
	うち交付金充当額	22,545	11,767	22,040	10,216	6,183	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	91.4%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	嘉手納町の防災・減災に向けて備蓄倉庫を設置し必要最低限の備蓄を図った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	避難所2箇所に備蓄食料、生活必需品等を各75人分(計150人分)配備。		目標 (2か所)	(3か所 配置・設置)	(2か所 配置・設置)	(2か所 配置・設置)	
			実績 2か所	3か所 配置・設置	2か所 配置・設置	2か所 配置・設置	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	町内避難所である第2保育所に備蓄倉庫1基、第3保育所に備蓄倉庫1基を設置した。併せて、非常食料の備蓄(75名3日分)、生活必需品の備蓄(75名3日分)、避難所設置応急対策備品(2避難施設分)の整備を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(2年度)
	町内避難者及び観光客等の非常食料等備蓄率100%		目標 ()	(80%配置)	(備蓄率 94%)	(備蓄率 100%)	()
			実績	80%配置完了	備蓄率 94%	備蓄率 100%	
	【参考指標】 防災訓練の実施:年1回以上		目標 ()	()	()	()	(1回)
			実績				
進捗状況説明	防災施設の機能強化や非常食糧の備蓄・生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の充実が図られ、令和元年度で町内全避難所20施設の100%配置を完了しており、備蓄率としても、100%となっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度で備蓄率は、100%を達成することができました。今後、食料の賞味期限の到来により、入れ替え作業が必要である。 備蓄備品等の使用方法を地域住民への説明や周知が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄食料の入れ替えについては、更新計画を作成し、年次ごとに補充する。 住民への周知については、まつり等において防災ブースを設置して行く。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 野國総管まつりにおいて防災ブースを設置し、賞味期限が近付いた備蓄食料を参加者に配布し、補充していく。 沖縄県広域地震・津波避難訓練において、各区自治会に参加を促し、備蓄備品等の点検・確認等を行うことにより、普及啓発を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,729	7,729	6,183	1,546	



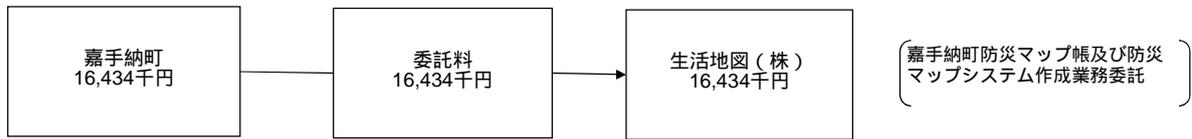
資金の流点、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争方式により選択しており、妥当であると考えられる。 ○予算規模については、複数社から見積をもらい決定しており適正であると考えている。 ○費用・使途については、事業目的の観点から必要か等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	防災啓発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制強化		
事業内容	嘉手納町の防災・減災に向けて、避難所の位置や災害危険区域・各災害に対する知識等を掲載した防災マップを作成し、一般町民及び防災関係部署へ配布を行う。観光客等の来町者に関する、日英併記の防災マップポケット版を作成し配布する。また、インターネット上で確認できる防災マップ地図システム構築し、防災・観光・生活情報を併記することにより、一般町民並びに観光客が気軽に活用しやすいシステムとなり、自然と防災意識の向上を図ることできる環境を構築し、安全・安心の確保と人にやさしい災害に強いまちづくりを実施する。						
効果発現年度	当年度	後年度(年度)					
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	16,753				
		(b)予算現額	16,434				
		(c)増減額(b-a)	319	0	0	0	0
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	16,434	0	0	0	0
	B.執行済額		16,434				
	うち交付金充当額		13,147				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		嘉手納町防災マップ帳6,500部、観光客用ポケット版防災マップ1,000部を納品。防災マップシステム一式の構築を行い、事業すべてを執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	嘉手納町防災マップの作成及び配布(7,500部)	目標	(7,500部)	()	()	()	
		実績	7,500部				
	防災マップシステムの構築 地図情報システムの構築、公開	目標	(一式)	()	()	()	
		実績	一式				
達成状況説明	当初計画していた、嘉手納町防災マップ帳6,500部、観光客用ポケット版防災マップ1,000部を納品。防災マップシステム一式の構築を行い、事業すべてを執行した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	防災マップ等の配布及び地図システムの構築	目標	()	(事業完了)	()	()	()
		実績		事業完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	防災マップ及び防災システムの構築完了。作成した防災マップを関係部署へ配布。町民全世帯に関しては、自治会を通し全世帯への配布を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	防災マップの配布に関し、転入者への配布漏れがないよう配慮する必要がある。また、防災知識向上のためには、防災マップ及び防災マップシステムを实际活用してもらう必要がある。	町内への転入手続き窓口にて防災マップを配置し、転入者へ配布を行う。また、自治会事務所へ予備の防災マップを常備し、防災マップの周知及び希望者への配布等の活動を行ってもらおう。
今後の取り組み方針		
嘉手納町防災マップを活用した町民参加による防災訓練を実施し、避難訓練等による検証結果や今後の状況の変化や関係期間による研究等を踏まえ、防災マップの内容を適宜更新していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
16,434	16,434	13,147	3,287	0



資金の流点、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者はプロポーザル方式により選択しており、妥当であると考えている。 予算規模については、複数社から見積をもらい決定しており適正であると考えている。 費目・使途については、事業目的の観点から必要か等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	